



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.44

地域連携病院④「医療法人 至誠会 宮本病院」

今回は、阿南市羽ノ浦町にある宮本病院をご紹介します。

■地域の身近な病院として

宮本病院は、「地域の皆様の「かかりつけ医」として、また「医療型療養病院」としての役割を確実に果たせるよう努めます」との理念の基、患者さんに寄り添う病院として地域医療に貢献しています。

医療療養病床(慢性疾患のため継続的な入院治療を行う病床)を48床有しており、主に県南の病院から患者さんを受け入れています。入院患者さんの多くは、がん、心不全、呼吸器不全、パーキンソン病、認知症などの末期状態により日常生活動作が困難な方で、主に終末期医療を行っています。また、近隣の介護施設入所者の入院にも対応しています。

さらに、在宅で看取りを希望される患者さんには訪問診療を行い、訪問看護ステーション阿南と協力し、在宅での終末期医療にも取り組んでいます。

外来においては、徳島県に多い糖尿病の診療にも尽力しており、糖尿病外来を設けています。特に徳島県糖尿病療養指導士(看護師、管理栄養士、薬剤師)による指導は、患者さん



徳島県糖尿病療養指導士の皆さん

も気軽に話しやすい、患者さんのお話を傾聴しながら、寄り添う指導を実践しています。

■肛門・排便障害外来

宮本病院は臨床肛門病技能認定施設や日

本大腸肛門病学会認定施設です。肛門疾患(痔核、裂肛、痔瘻、肛門周囲膿瘍など)や排便障害(便秘、下痢、便失禁など)の専門治療にも力を入れています。肛門手術は痛みの軽減が期待できるものを積極的に取り、日帰り手術や短期入院での治療を行っています。



■徳島大学病院との連携

宮本病院は徳島大学病院の県南部における重要な連携先の一つです。主にがん末期に係る診療連携をしており、特に在宅での看取りを希望する患者さんの診療に携わっています。また、宮本病院からは大腸がんの患者さんを大学病院消化器・移植外科へ、また、骨盤臓器脱(膀胱瘤など)の患者さんを大学病院泌尿器科へ紹介しています。

■宮本病院からのメッセージ

宮本病院は昭和63年に開院し、30年を迎えました。これもひとえに地域の皆様のご支援の賜物だと感謝しています。医療法人至誠会の「至誠」には何事にも真心をもって誠心誠意努力し、社会のため他人のために力を注ぐという意味があります。これからも地域の皆様に信頼されるかかりつけ医、また安心して入院いただける病院であり続けるため、職員一同日々努力して参ります。

「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようなサポートしています。

問い合わせは

医療法人 至誠会
宮本病院
徳島県阿南市羽ノ浦町
古庄古野神4-14
TEL.0884-44-4343

■説明は
宮本 英典(みやもと ひでのり)
副院長

